

農泊による地域活性化に向けた シンポジウム

農業者やグリーン・ツーリズム(GT)実践者が、インバウンド等の需要にも対応した農泊による地域活性化に向け、農泊の実践事例や課題解決の手法を学ぶためのシンポジウムを開催します。

会場

栃木県庁研修館 講堂
(宇都宮市塙田1-1-20)

参加費

無料

日時

令和7(2025)年11月25日(火)
13:30—16:00

対象

農業者、観光農園、市町、
農業団体、道の駅、GT実践者、
観光事業者 等
【定員(先着)120名】

プログラム

※演題は変更となる可能性があります。

特別講演

～仙北市における農泊の取組とインバウンド受入れ体制について～

**講師：一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会
事務局 長 坂本 昂嶺 氏**

平成27年の秋田県仙北市役所採用からグリーンツーリズムや教育旅行、都市農村交流、国際交流を担当。平成28年、同協議会がディスカバー農山漁村の宝第3回選定フレンドシップ賞を受賞した時の担当者。令和6年4月から仙北市役所より出向し、同協議会事務局を担当する。

仙北市農山村体験推進協議会は昭和40年代から培ってきた取り組みのノウハウや観光資源を活かし、さらなる都市農村交流と地域活性化を図るため、平成20年に設立。平成30年には法人化、地域限定の旅行業の登録を行う。



事例報告

～大田原におけるアグリツーリズムの取組について～

報告者：株式会社大田原ツーリズム
事業統括 齋藤 充利 氏
農園Hotel 長ぐつの田んぼ
益子 延夫 氏

アグリツーリズム in 大田原は、「自然を楽しみ、現地の人々とふれあいながらのんびり過ごす」をコンセプトに、農家ホテルを展開。
2025年4月にオープンした「農園 Hotel 長ぐつの田んぼ」では、里山散策や農業体験を提供している。



トークセッション

～農泊の実践事例から広がる地域活性化について～

【ファシリテーター】公益財団法人栃木県農業振興公社
杉本 宏之 農村プロデューサー
【パネリスト】

- ・ 栃木県農政部農村振興課長 高崎 正
- ・ 一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会
事務局 長 坂本 昂嶺 氏
- ・ 株式会社大田原ツーリズム
事業統括 齋藤 充利 氏
- ・ 農園Hotel 長ぐつの田んぼ
益子 延夫 氏、益子 希美 氏
- ・ 株式会社モグローカル
代表取締役 木藤 利栄子 氏

共催：栃木県・(公財)栃木県農業振興公社(とちぎ地域資源活用・地域連携サポートセンター)

※申込方法・会場アクセスは裏面にあります。

申込方法

※お申込みは、電話、メール、FAX、二次元コード(申込フォーム)により可能です。
(FAXでお申込みの際は以下の記入欄に必要事項を記入の上、この用紙をFAXしてください。)

締切

令和7(2025)年11月17日(月)17時まで

TEL

028-623-2333

MAIL

noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp

FAX

028-623-2337

申込
フォーム



(URL: <https://forms.office.com/r/d5RkSiR2Fb>)

氏 名	所属 * 記載は任意	住 所 (市町名まで)	電 話 番 号 メールアドレス	交通手段
			Tel : Mail :	
			Tel : Mail :	
			Tel : Mail :	

【会場/アクセス】栃木県庁研修館 講堂(宇都宮市塙田1-1-20)

栃木県庁地下駐車場の利用が可能です。
(会場にて駐車券の無料処理をします。)

JR宇都宮駅西口バスターミナル

・バスターミナル

「乗り場番号：1番,2番,6番,7番,11番,12番,13番,38番」
で乗車し、「県庁前」もしくは「栃木県庁舎前」で下車
東武宇都宮駅より徒歩

・駅東口から約12分 (1.0Km)

車利用

・東北自動車道：宇都宮IC出口から南進約20分(約9km)

・東北自動車道：鹿沼IC出口から東進約25分(約10km)

※研修館講堂は県庁本庁舎の北側(裏手)に位置しています。



お問い合わせ



栃木県 農政部 農村振興課

TEL 028-623-2333 FAX 028-623-2337